

# (新)長崎をかえる人財誘致プロジェクト推進事業

## 事業の目的

【地域振興課 予算額 58,175千円】

- 地域の魅力アップや起業・定住による地域の活性化を推進するため、市町と連携して「地域おこし協力隊」の制度を活用した「人財」誘致を実施

## 事業の概要

### 【課題】

地域のマン  
パワー不足

移住者受入  
の雇用の受  
皿不足

### ○地域おこし協力隊の採用

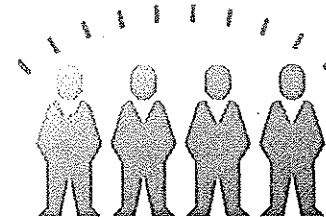
- ・市町が採用する隊員に係る経費の一部を支援(2,000千円×25人)
- ・起業や定住につながる隊員の採用支援(離島・過疎地域での支援を優先)

県も費用の一部を負担することで市町と  
ともに取り組む姿勢を示し、強力に推進

### ○隊員の募集

- ・県はスケールメリットを活かして、大規模な募集を実施(より優秀な「人財」の獲得)

地域の活性  
化、定住支  
援、雇用創  
出を図る



# しま共通地域通貨発行支援事業

【地域振興課 予算額 2,218千円】

## 事業の目的

- しまの経済活性化を図るため、しまを訪れる島外者を対象として、しま共通で使用できる地域通貨の発行を支援

## 事業の概要

○ 平成25年4月より発行【愛称:しまとく通貨】

### しまへの旅行者等を対象に販売

- ・ しまへの玄関口である港や空港で、しまへの観光客を対象にプレミア20%を加えて販売  
(5千円で地域通貨6千円分、販売上限3万円)
- ・ 6枚つづり(1枚千円)販売とし、それぞれ各島をPRするデザイン
- ・ しまとく通貨の購入者に限定したサービス等を実施

### 通貨の使用は、しま限定

- ・ 宿泊費、食事代、土産代などへの消費を想定  
(金券やギャンブルは対象外)
- ・ 島内にて加盟店を募集

県・しま市町は、プレミア分を助成

本土発の  
しまへの旅行者  
ビジネス客等

航路・空路事業者  
発券窓口等で購入

36億円発行(6億円がプレミア)

しまの経済  
活性化へ

加盟店で消費



# 離島輸送コスト支援事業

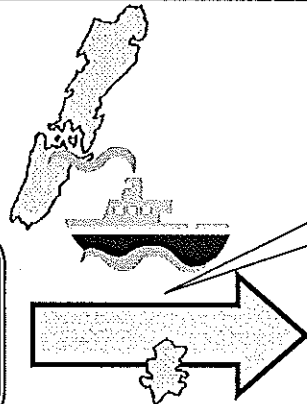
## 事業の目的

【地域振興課 予算額(債務負担行為) 43,170千円】

○離島関係市町が国の交付金を活用して行う戦略産品(農水産物等)に係る海上輸送コスト支援に対して一部補助を実施

## 事業の概要

離島の戦略産品(農水産物等)の出荷



本土

離島の基幹産業である農林水産業等の島外への出荷に関して海上輸送に係るコストがかかっており、大きな負担となっている

国交付金及び過疎債ソフト分を活用することにより、事業費の1/3を負担する市町に対し、市町実質負担額の半分を補助(=事業費全体の5%)

※元利償還に対する後年度補助

輸送コスト		
生産者等負担 1/3	国補助 1/3	市町補助 1/3

市町実負担の半分を県が補助

# (新)未来を担う日韓青少年育成事業

【国際課 予算額 6,641千円】

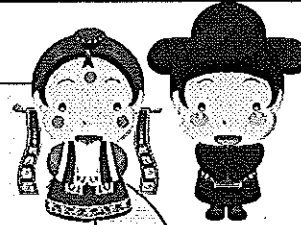
## 事業の目的

- 日韓両国の相互理解・交流や人材育成を図るため、フォーラムの開催やグループ討議等を実施

## 事業の概要

### 日韓交流フォーラム(長崎市)

- ・講演会及びパネルディスカッションを開催  
(広く一般に発信)



### 日韓未来塾(長崎市～対馬市)

- ・日韓の若者(19～30歳)50名(日韓各25名)により、グループによる意見交換やレクレーション等を実施

#### 【意見交換テーマ例】

食文化、アニメ、映画、音楽、伝統芸能 等

### 現代の朝鮮通信使招へい【情報発信】

- ・韓国のメディア関係者等に全行程に同行してもらい、韓国内等での情報発信

未来を担う日韓両国の人材育成

今後の更なる交流拡大へ



# 県内の歴史文化遺産を活用した交流促進事業

【文化振興課 予算額 46,172千円】

## 事業の目的

○朝鮮通信使等の世界にも誇れる本県の歴史文化遺産を活用し、海外との交流や国内外からの誘客を促進

## 事業の概要

### ステップ1(磨き上げ)

- 調査研究強化(観光関係者の視点を入れた調査実施)
- 観光資源としての磨き上げ(観光ガイド支援、受入体制強化)

### ステップ2(P R)

- 歴史文化博物館で交流促進・観光誘客につながる企画展開催
- 県外講座開催(東京、京都、福岡等)
- 歴史文化遺産等を巡る周遊型旅行商品の造成支援
- 遺産を活用したアジア地域との文化・友好交流を実施

### 効果

交流人口の拡大

海外との友好交流  
関係の拡充

平成25年度は「朝鮮通信使」をテーマに展開

H25

歴史文化博物館での  
特別企画展開催等

H26以降

H25の企画展を契機に  
韓国との交流促進を  
さらに展開